

*横須賀を中心に近隣のみどころを紹介するコーナーです

ヨコスカ Discovery

ディスカバリー

第41回《最終回》 横須賀中央地区に明治の記憶を探る

今年は明治維新から150年。横須賀製鉄所建設に始まった街の変貌が、明治の横須賀を作りました。その記憶を求めて、JR横須賀駅から三笠公園まで歩いてみましょう。(距離約3km、所要時間:約2時間)

正岡子規句碑

子規が横須賀に来たのは明治21年8月。軍艦の帆柱が立ち並ぶ光景を「冬木立」と詠んだ。この後、鎌倉に回った時初めての咯血をし、病との闘いが始まった。



向山行在所址 (横須賀幼稚園前)

「行在所」とは天皇が行幸の際、宿泊や休憩をした場所のこと。明治天皇の横須賀行幸は17回。その内3回はここにあった2階建ての洋館を利用した。



記念艦「三笠」

明治37~38年、日露戦争を勝利に導いた連合艦隊の旗艦。乗組員、家族、保存に尽力したそれぞれの人の思いが詰まる。分かり易い艦内ガイドが人気。



白仙山神遷石祠 (諏訪神社境内)

横須賀製鉄所建設の際、白仙山を切り崩してドックを掘り、湾の埋立てをした。無事完了したことを感謝し、白仙山の神をここに遷したと彫られている。



横須賀駅は明治22年の開業。駅舎は大正3年に現在地に建て直され、昭和15年に改築されているが、駅舎の隅に明治22年と書かれた「建物財産標」が残されている。



御幸橋の親柱

明治22年3月、明治天皇が開業前の横須賀線で行幸。馬車で鎮守府に向かう道筋、汐入駅付近に架かっていた橋は「御幸橋」と名付けられた。



明治天皇御駐蹕碑

昭和8年の明治節(現在の「文化の日」)に除幕された碑で、字は東郷元帥の揮毫。明治天皇の行在所宿泊の事績を記念したもの。



歩くときの ワンポイントアドバイス

途中には石の磨り減った急な階段もあるのでゆっくり上りましょう。お寺や神社の境内を抜ける時は参拝を忘れずに。

■「ヨコスカディスカバリー」は今月号で終了します。ご愛読ありがとうございました。